





## 生活交通を考えるシンポジウム

### 感想文の一部を紹介します。

・12年前に本市に越してきてびっくりした事の一つとして各戸が2～3台のマイカーを所有している事。公共交通の未発達がこの理由によるものかと考えます。車両用道路の整備は完璧なまでに出来ている反面、歩道の未整備の多さにガクゼン。イオンモールへ買物に出かける際、電車賃片道150円+コミバス200円で1回700円かかります。10日間で7000円となり年金生活者としては大きな負担です。本田技研は鈴鹿市の財政をうるおしている故、マイカー奨励を止めないと思います。今回の生活交通の問題、夢でなく是非実現させたいものです。

・今日の可児先生の話は、市長や市役所の担当者に聞いてほしかったと思います。辻井会長の方針には賛成です。会員の皆さん一致協力してできるだけ早くに我々の要望が実現すること行政に推し進めたい。今の状況では「車の町」鈴鹿市ではない。市長はもっと老人を大切にすることを希望します。

・現在車運転しているので不便なしですが、今後のことを考えるとこのシステムに大賛成です。

・地方の政策をしっかりと勉強し、住民参加、利用者参加で意見を述べて総ての人々が幸せな生活が送れるよう日々の生活にメリハリある人生を送れるよう、生活の足を確保する事の大切さ、尊さを切に感じました。鈴鹿市の独自のオンデマンドバスを早期に実現して欲しい。皆で頑張りましょう。

・辻井さんの提案はわかりやすかった。可児先生の講演は理論的ではあったが、一般市民にはむずかしかった。行政の人にはしっかり聞いてほしいことではあるが、、、。可児さんは辻井提案をどう思っているのかな？ききたかったな。

・自分は今車に乗っているのですが必要ではないが、もう少ししたら車を手放す時が来るのでその時には無料バスに乗りたいと思います。

・可児先生の話で頭の中の整理が出来ました。「交通権」という考え方をしっかり広めて実現に向けて頑張りたいと思います。

・本日の可児先生の講演会を市長に聞かせたかった。一部のコミバス利用者のみ税金を使って不公平だと思います。



## 末松市長、次期4年間で小児救急医療体制とお年寄りの足となる公共交通サービスを。

中日新聞9/19三重版

**末松氏3選出馬表明**  
鈴鹿市長選「市民負担減えたい」

鈴鹿市長選「市民負担減えたい」  
末松剛子市長  
（来年四月二十日）により  
（末松氏は十八日、任期満了  
市議会の統一地方選で実施さ  
れる市長選に三選を目指し  
て立候補する意向を表明し  
た。市議会九月議会で野間

末松市長は、二期務  
めた後、二〇一一年の市長  
選で新人入りの三つどもえを  
制し、東海地方初の女性市  
長に。一年は新人との一  
騎打ちを制して再選した。  
次期市長選で他に目立った  
動きはない。（片山健生）

芳英議員（市民連盟）の  
一般質問に答えた。  
答弁では、教育・子育て  
に注力した二期八年の市政  
運営を振り返り、市立小中  
学校の全普通教室にエアコン  
を整備したり、子ども医  
療費助成制度の対象を中学  
生の通塾分にも及びたりと  
いった成果を強調、少子超  
高齢化社会を見据え、残る  
主要課題として小児救急をほ  
めとする医療体制の充実  
や、お年寄りの足となる公  
共交通サービスの維持を舉  
げ、次期四年間も市民の  
負担を減えたいと述べた。

すい街だと感じました。料金も地域内バスは無料、買い物・市街地病院循環バスは1乗車100円、デマンドバスも1乗車100円、デマンド乗合タクシーは、1乗車300円と安価です。

職員さんのお話の中で、市の負担額として、年間3億もの（関市は人口9万）一般予算が歳出されているというのには驚きました。

また、TV等の報道で高齢者の自家用車免許返納が話題になっている昨今、鈴鹿市でも、高齢者が外出しやすい街づくりが早期に実現できるような公共交通の計画と予算化がなされる必要を感じました。

（萩森 美知子）

## 関市の公共交通を視察して

5月16日、「コミバスをよくする会」の事務局で、岐阜県関市の都市計画課の職員の方に公共交通についてのお話を伺いに行きました。

関市は、地域内交通として、市の中心部には東西に長良川鉄道が走り、定時定路線型としての買い物循環線、病院を巡る市街地病院循環線が運行されています。周辺部には、既に予約型デマンドバスが市の南東部3路線と北東部1路線が走り、デマンド乗合タクシーも走っています。関市は、交通網がよく張り巡らされ、市民、特に私たち高齢者が外出しや